



Q コロナウイルス感染拡大防止のために休校等の措置が取られたことによる小中学校の教育環境の変化に関して、3点伺う。

①不登校児童・生徒への対応について。

②児童・生徒に対する心のケアについて。

③児童・生徒に一人一台配布されたタブレットパソコンの利用方針について



は
せ
が
わ
こ
う
せ
い
長谷川 公成
議員

問 こころのケアで児童・生徒を守れ

A 理事 ①令和2年度の不登校児童・生徒数は、前年度に比べて小学生は増加の割合が大きくなっており、中学生は例年の増加傾向と大差はありません。本年度、第2

*「つばさ学級」では児童生徒に対し自立や学校復帰を目指す支援や指導を行う。

②中止や縮小を余儀なくされた学校活動の代替活動を計画し、制限がある中でも楽しい思い出や達成感が得られるように努めています。

また、児童・生徒に悩み相談窓口を紹介しています。

③次の4つの取り組みを推進します。

- (1)授業における活用、
- (2)家庭における活用、
- (3)特別な支援を必要とする児童生徒の支援
- (4)不登校児童・生徒の支援

全質問項目

◇コロナウイルスによる小中学校の環境の変化について



き
むら
あ
き
と
木村 彰人
議員

問 過去40年の検証と市制施行50周年への展望は

Q 来年、市制施行40周年という節目を迎えるに当たり3点伺う。

①40年間の太宰府市政を振り返って、これまでの市政運営の検証について。

②近隣3市より市政施行が10年遅れたが、この10年がまちづくりの充実度やサービスの水準で格差となっていないか。

③第5次総合計画が終了した状態で、太宰府市はどのようなまちを目指し、何を頼りにまちづくりを進めるのか。

整備を行うことができましたが、少子高齢化に加え、新型コロナウイルスで地域経済が大きな打撃を受けており、知恵と手段を結集して厳しい社会経済情勢を打破することが課題であると考えています。

②それぞれの市で都市環境や地理的条件が違い比較は難しいのですが、現在のところ太宰府らしい独自の歩みができていると考えます。

③新型コロナウイルスのワクチン接種に全力で取り組み、市民の平穏な日常を取り戻すことが最優先で、そのうえで総合戦略に掲げた4

つの戦略を軸に本市の活性化に取り組みたいと思います。

全質問項目

◇市制施行40周年を迎える本市の、これまでの歩みと、これからの展望について





原田 久美子 議員

問 中学校完全給食を断念してランチサービスの充実に向かうのか

Q 健康教育の観点から、中学校も小学校と同様に完全給食が必要であると考え、2点伺う。

①ゼロベースであらゆる角度から実施方式や財源の検討を行い、任期中に一定の方向性を打ち出す旨述べられたが、中学校給食実現の方向性について。

②中学校ランチサービス拡大事業として1370万8千円の予算が計上されたが、これはあくまで完全給食実施までの当面の予算と理解している。現在の希望者だけのランチサービスが妥当なのか、それとも完全給食の方向に向かうのか。

A 理事 ①中学生の心と体の成長にはバランスの取れた栄養摂取が欠かせないことから、安心・安全で多様な食品をバランスよく摂取させることを目的としたランチサービスを実施していきます。まずその喫食率の倍増を目標に給食環境を向上させたいと考えています。

②完全給食と選択制のランチサービスにはそれぞれに特徴があり、各方面から様々な意見をいただいています。コロナ禍で大変厳しい財政状況であることや、多大な財源を必要とする学校施設の改築、改修が控えていることなどから、慎重に検討を続ける必要があると考えています。



中学校のランチサービス

全質問項目

◇中学校の完全給食について



徳永 洋介 議員

問 今こそ部活動指導の革新を

Q 3月議会では中学校部活動外部指導員の資質向上のための仕組みづくりと生徒の健全育成に資する指導員研修を実施すると回答された。外部指導員数は令和元年度11名から令和2年度21名と倍増したが予算は263万円から314万円に増えたのみである。学校の働き方改革のため3点伺う。

①外部指導員予算額と指導員数について。

②外部指導員の活動期間について。

③部活動に関する市の方向性について。

A 理事 ①部活動外部指導員派遣事業予算は本年度314万1千円、外部指導員は23名です。

②例年、5月頃から3月までです。

③生徒の技術向上、顧問教師の負担軽減、部運営の円滑化、生徒指導の充実が実現していることから今後も継続、充実を図っていきます。さらに、文部科学省も部活動改革として地域人材の積極活用を推進しており、人材の確保と費用負担の在り方の研究を行っていきます。



全質問項目

◇中学校部活動について
◇新型コロナウイルスワクチン接種について





おぼた
小島 真由美
議員

問 避難所は去年より
アップデートされるのか



Q 自然災害等発生
時、避難所の運
営に当たり、今年
は新型コロナウイルス感
染症対策との両立が
求められる。以下
4点伺う。

- ① ペットと一緒に避難できる体制。
 - ② 配慮を要する避難者の支援に資するヘルプマークや災害用ベストの活用。
 - ③ 感染者や濃厚接触者の専用避難スペースの設置。
 - ④ ワクチン接種会場と避難所の重複への対応。
- A** 部長 ①市は同行避難を推奨していますが、ペットと一緒に車中泊もできる同伴専用避難所を試行的に開設するため、詰めの作業を行っています。
- ②災害用ベストの配布には及びませんが、県のヘルプマークを名札化し、避難者の要望に応じてヘルプカードとして着けていただいています。
- ③保健所から災害発生時の留意事項の案内がなされています。市ではプラム・カルコア内に専用スペースを設けるよう検討を進めています。
- ④いきいき情報センターについては太宰府中学校体育館を代替避難所とし、とびうめアリーナについてはワクチン

接種会場とはフロアを分け、避難所も開設しません。



全質問項目

◇災害時における避難所管理運営と公共施設の整備について



こうたけ
神武 綾
議員

問 中学校給食の
親子式実現に期待



Q 中学校完全給食
について市長は
任期中に一定の方向性を
示すと繰り返ししている
が、市民からの実施を求
める声が強くなる。2
点伺う。

- ①今年度、水城小学校の改築が着手される。計画では給食室も対象となっており、親子式の給食室の設置を前向きに進めるべきと考えるが見解は。
 - ②市長、教育長宛てに3348筆の署名が届けられた。義務教育である中学校において早急に完全給食を実施することは重要な施策であるが、現時点での実施に向けた見解は。
- A** 理事 ①水城小学校の改築事業については、学校運営協議会や教職員の意見をいただきながら進めますので、ご提言いただいた親子式給食室も含め検討していきます。
- ②現在、市はコロナ禍による税収の激減で大変厳しい財政事情であり、また、給食事業者も厳しい経営環境下にあることも踏まえて、まずは、実施しているランチサービスの一層の充実を図ることによる喫食率の増進を目標に利用者拡大を図り、生徒の給食環境を向上させたいと考えています。



全質問項目

◇中学校完全給食実施について
◇いきいき情報センターについて



問 太宰府版ニューディールの効果はいかに

ふなこし たかゆき
船越 隆之 議員



Q 施政方針行財政改革に関して、

3点伺う。

① プラム・カルコア太宰府敷地内にある防火水槽の移設工事を、この

時期に実施しなければならぬ理由について。

② 市内の生活環境の改善と経済活性化対策（太宰府版ニューディール）として、側溝蓋掛け工事等をこの時期に実施しなければならぬ理由について。

③ 下水道のデザインマンホール蓋を設置することで、観光客の誘客ができるのか。

A 部長 ①令和2年8月の消防署による点検で漏水の疑

いの報告がなされ、その後の調査で漏水が判明したため、早期の改修が必要であると判断しました。

② 新型コロナウイルスの影響で大変厳しい状況の中、地場産業の育成と経済活性化とともに生活環境の改善を図ることを目的に、側溝の蓋かけ工事等の来年度計画を前倒しで実施することにしました。

③ アフターコロナも見据えて、太宰府らしいデザインマンホールを一部の地域に設置することで、市民や観光客の皆様以太宰府の魅力を支える下水道の大

切さについて理解を深めていただくものです。

太宰府版ニューディール!?



全質問項目

◇ 施政方針行財政改革戦略について



問 アンビシャス広場のさらなる充実を望む

はしもと けん
橋本 健 議員



Q 学校教育とともに、子どもの成長に必要な欠くべからざる社会教育に関して、3点伺う。

① 社会教育団体の現状について。

② 各団体の抱える問題点とその対策及び連携した活動による活性化について。

③ アンビシャス広場づくりの推進に対する市の見解について。

A 部長 ① 現在本市には青少年を対象とした社会教育団体として7団体が活動しています。

② 問題点としては、人材の担い手不足と高齢化です。市の対策として

は、新しい人材の発掘及び育成のために、交流と情報交換の場としての研修会や機会づくりに取り組んでいます。各団体の連携した活動で、お互いに協力し合うとともに、各団体への参加を通して青少年リーダーに成長するなど、各団体間の連携がさらに強固なものとなっています。

③ アンビシャス広場は、子どもたちの心身の成長に大きく貢献しているものと考えます。現在活動中の4つの広場のさらなる充実を図るとともに、新たな広場づくりにも取り組んでいきます。

全質問項目

◇ 社会教育の積極的な推進について



アンビシャス折り紙ヒコーキ大会



問 市の上踏切周辺の今後

藤井 雅之 議員



Q 市の上踏切は、踏切道路改良促進法に基づく改良実施すべき踏切道路に指定され、社会资本整備総合交付金を財源に踏切改良工事を進められ、令和3年4月3日拡幅竣工記念式典が行われた。

A 部長 ①踏切周辺道路の改良も併せて行うことで、車両の通行をスムーズにすることをこれまで行ってきました。当該箇所についても、道路の拡幅以外にも安全で円滑な通行を確保するため、一方通行などの交通規制を行うことも、有効な措置の一つと考えています。交通実態や朝夕の混雑状況等を確認し、地元自治会及び筑紫野警察署と協議しながら、より安全な交通体系を検討していきます。

② 竣工直後にもかかわらず降雨時に水たまりができています。早急に改善が必要と考えるが、見解は。

② 現在JR九州で仮補修を行っています。引き



市の上踏切歩道部にできた水たまり(旧シルバー人材センター前)

続き当該箇所の本格的な補修工事を実施する予定です。

全質問項目

- ◇市の上踏切周辺の今後について
- ◇避難所のあり方について



問 ワクチン接種の諸課題を問う

門田 直樹 議員



Q 新型コロナウイルスワクチン接種事業に関して、3点伺う。

A 部長 ①医療従事者への接種は

① 医療従事者等への接種の進捗状況、年代別に予定する接種対象者の範囲と概数、本市の接種の優先順位は。
② 全体の実施期間の見込みと対象範囲ごとの予定期間、接種会場でのレーン数、キャンセル分ワクチンの処分、個別接種や巡回接種を行う事の現時点での考えは。
③ 接種予約のトラブルや苦情件数と概要、機器の操作が困難な方への対応、来庁される方への対応は。

① 医療従事者等への接種の進捗状況、年代別に予定する接種対象者の範囲と概数、本市の接種の優先順位は。
② 全体の実施期間の見込みと対象範囲ごとの予定期間、接種会場でのレーン数、キャンセル分ワクチンの処分、個別接種や巡回接種を行う事の現時点での考えは。
③ 接種予約のトラブルや苦情件数と概要、機器の操作が困難な方への対応、来庁される方への対応は。



コロナウイルスワクチン

約1500件でスケジュールや予約方法が主です。また、機器の操作が困難な方には、地域でサポートをお願いしています。

全質問項目

- ◇新型コロナウイルスワクチン接種事業について



問 一人一台パソコンをフル活用せよ

いりえ 入江 寿 議員



Q 従来の教育はどれだけの知識を暗記できるかで評価を行ってきたが、今後は情報活用能力や創造力の育成に重きが置かれ、先生からの一方的な授業ではなく双方方向型に転換しなければならない。ICT教育はそのツールとなることから、5点伺う。

A 理事 ①個人に
応じた教材の提供、個々の意見を瞬時に集約、整理したうえで話し合うことなどが可能となります。

一人一人に最適な学びの提供を実現します。

- ①タブレット端末の活用
- ②教員のICT教育指導力向上の取組みは。
- ③学校と家庭をつなぐICT教育の取組みは。
- ④つばさ学級生徒へのICT教育の取組みは。
- ⑤ICT教育の将来を見据えた取組みは。

- ②教員向け研修会や公開授業の開催、ICT支援員の派遣を行います。
- ③タブレットにはオンラインソフトが備わっており、今後使い方を教え活用を進めます。
- ④つばさ学級生徒もオンラインで学校の様子を見ることができ、学校をより身近に感じることがができます。
- ⑤ICT活用スキル、情報モラル、プログラミング教育の3つのカリキュラムの実践で、一

全質問項目

◇ICT教育について



問 目標をもたないと中学校給食は実現できない

かさり 笠利 毅 議員



Q 給食には、ランチサービスでは実現できない市としての目標があるはず。何も進んでいないという声もあるが市は何をしているのか。まず教育委員会から、ランチサービスではなく給食を実現する意義について説明をいただき、そのうえで中学校給食調査研究委員会で集めた資料の分析について、部署毎の分担と全体の進捗管理の担当を伺う。さらに市長の言う「ゼロベースでの検討」とは完全給食の断念も意味しているのかを伺う。

A 部長・理事 全
員がバランスの
良い栄養を摂取するとともに、一体感や協働の精神が育成できるのが完全給食の良さとして挙げられます。食育の観点はしっかりと持って判断していきたいと思います。財政、施設整備、運営の面で分担研究を続けており、三役会議等でも協議をしています。厳しい財政状況もあり確定的な結論は出ていません。

環境を整えていくということです。

市長 全体については担当というより市長が責任を負っています。「ゼロベースでの検討」とは、過去は踏まえつつも、市長の責任においてゼロから考え中学生の昼食

全質問項目

◇中学校完全給食について

